



太陽の賛歌を謳う  
 アッシジの聖フランシスコ②

アッシジの聖フランシスコ

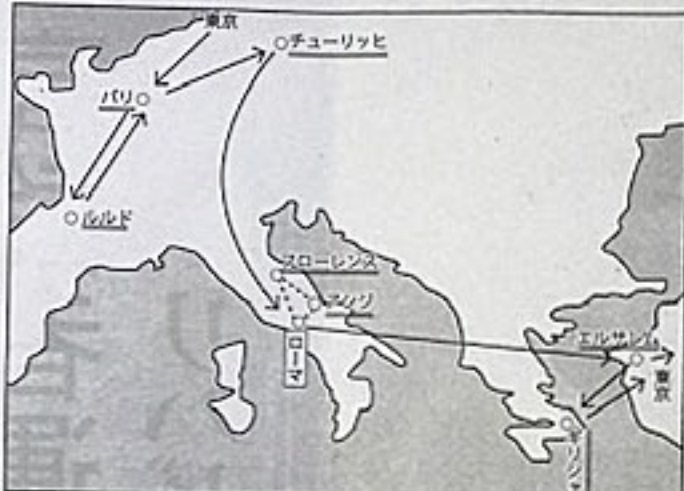


小島に説教をする  
 フランシスコ(伝記の表紙)

イタリアが生んだ聖人「アッシジのフランシスコ」。彼は1182年イタリア中部ウンブリア地方のアッシジで生まれた。私がアッシジを最初に訪れたのは昭和49年、広島教区創立50周年を記念し、ヨーロッパ各地を巡礼した時である。教区の広報の手伝い

スター・ムーン」でも紹介され、カトリック信徒以外にも親しまれ、た聖人で数々の出版物も出されている。我が家にある伝記によると、今でこそ立派な聖堂だが、フランシスコが若い頃のサン・タミアノ聖堂は、荒れ果てた野にある小さな礼拝堂にすぎなかった。フランシスコがそこで祈っていると、古く十字架像がある太陽によって、この兄弟は真昼の光、この兄弟によつて、家を建てなさい。あなたにわたしもを倒れそうに照らしてください。この兄弟は美しく、大きな輝きをもって光輝き

「主よ、あなたのみ旨のままに喜んでいました」と言い、サン・タミアノ聖堂が再建されたものだと思ふ。彼は1226年に自然と共に生きた聖フランシスコは「太陽の



昭和49年の旅行地図

「いと高き、全能の善き主よ、賛美と栄光と譽れとすべての祝福はおんみのもの。それらはみな、あなたこそ下さわしく、人は誰でもあなたを語ることはできません。賛美されますように私の主よ、あなたがお遣りになつたあらゆるもの、とくに、貴き兄弟で折っていると、ある太陽によつて、この兄弟は真昼の光、この兄弟によつて、家を建てなさい。あなたにわたしもを倒れそうに照らしてください。この兄弟は美しく、大きな輝きをもって光輝き、あなたのお姿を喜び、いと高き方よ、(以下省略) フランシスコがつつた時の状況を知るとよ、こんな時がうたえたものだと思ふ。彼は1226年に自然と共に生きた聖フランシスコは「太陽の